

公表：令和7年12月15日

事業所名 英才療育じゅにくろ

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6				
	②	職員の配置数は適切であるか	5	1			
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	2	1	建物内の階段には全て手すりを設置し、必ず職員が見守り、補助を行える体制を整えています。	事業所設備等について職員間で適宜情報共有に努め、安全配慮が保たれない箇所が判明した場合には、早急に改善策等を検討し、実施します。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	3	3			
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6			保護者様からのご意見に真摯に向き合い、事業所として改善策の検討を行っています。	
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	2			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	3			
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	1		・サービス管理責任者研修や行動援護研修等、外部研修の機会提供を積極的に行ってています。 ・年間の研修計画を立て、法定の年次研修とは別に、毎月研修を実施しています。	
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			・契約時に保護者様からアセスメントの聞き取りを行うとともに、見学時や初回利用時に児童の特性についてアセスメントを取り、保護者様のニーズや児童の特性に合わせた支援計画の作成に努めています。	
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	1		多様な療育支援プログラムを実施しており、多角的な視点から児童の行動特性についてアセスメントを行っています。	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6			五領域の観点から、五感を使った多角的な療育支援プログラムを提供している。適宜、担当職員間で支援プログラムの検討、フィードバックを行い、適切な療育支援に繋がるよう努めています。	
適切な支援の提供	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6			祝日や長期休暇には、季節毎の外出を伴うプログラムを取り入れることで、固定化を避けつつ、文化的な視点でも療育へのアプローチを行っています。	
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	2			
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	6				
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5		1	外出や事前準備を伴うプログラムの際には、事前に支援行程や手順、準備物、留意事項等を担当職員間で話し合い、支援内容や役割分担について検討を行っています。	担当職員間で認識の相違が生じないように、ホワイトボード等を活用した申し送りを徹底し、情報提供に努めます。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	2	1	支援終了後には、担当職員間で支援内容について振り返りを行い、適宜検討、フィードバックを行う体制づくりに努めています。	担当職員間で認識の相違が生じないように、ホワイトボード等を活用した申し送りを徹底し、情報提供に努めます。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	1			
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6				

	⑯ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	4	2			
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑰ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	1			
	⑱ 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	5	1			
	⑲ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2	4			
	⑳ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	2			
	㉑ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3	3			
	㉒ 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	3			
	㉓ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がないのない子どもと活動する機会があるか	4	1	1		祝日や外出を伴うプログラムにおいて、事業所以外の児童と交流する機会はあるが、プログラムとして実施できるように検討を行っていきます。
	㉔ （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	1	4	1		協議会開催等の情報収集及び情報共有に努めます。
	㉕ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5			定期的に家族支援を行い、課題についての共有理解を行っています。	
	㉖ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	5	1			
保護者への説明責任等	㉗ 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	1			
	㉘ 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6				
	㉙ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3	2	1	定期的に保護者会を開催し、ペアレントトレーニング等を実施しています。	より多くの保護者様が参加できるように、ご家庭や学校の状況・ニーズを鑑みながら、開催日時や内容について検討していきます。
	㉚ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6				
	㉛ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5		1	毎月、月間の活動スケジュール表の配布を行っています。 また、事前準備が必要な活動プログラムの際には、連絡ツールにて保護者様へ情報共有を行っています。	保護者様の方々が活動内容についてより理解を深めていただけるように、連絡ツールやブログ発信等を活用していきます。
	㉜ 個人情報に十分注意しているか	6				
	㉝ 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	1			
	㉞ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	1	1	地域のお祭りでステージ発表を行うなど、事業所と地域との交流の機会を設け、地域に開かれた事業所運営に努めています。	
	㉟ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4		2		避難訓練等のお知らせは必ず保護者へ説明を行うと同時に、契約時にマニュアルを現状よりも詳しくお伝えしていく。

非常時等の対応	㊱ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5		1	地震や火災など、想定シーンを変えて避難訓練を実施しています。	職員間の危機意識の向上や認識の共有を図る為、より具体的なケースを想定しての避難訓練実施を検討します。
	㊲ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6				
	㊳ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6				
	㊴ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	2	4			
	㊵ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4	1	1	ヒヤリハットについて、記録を作成し、事業所内サーバーにて共有しています。	ヒヤリハット事例が発生した際には、記録を作成するとともに、職員に対して周知徹底に努めます。

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。